

さわらや農園の甘酒が快挙

平成29年度茨城県農産加工品コンクールが開催され、さわらや農園（橋本和子さん）の「赤米甘酒」が金賞に、「こうじ甘酒」がテイスト、デザイン、アイデアの3賞をトリプル受賞しました。

橋本さんによると、金賞を受賞した赤米甘酒は、雑味がなくコメの味がストレートに感じられる、すっきりとした飲み口の甘酒です。今後は、甘酒シリーズのセット販売や、パンフレットの刷新など、新たな試みをしていきたいとのことでした。



左から、橋本さん、久須美副市長

美しい水土里づくりに貢献

第10回茨城県美しい水土里づくり優良活動表彰で、中山間地域等直接支払制度部門の茨城県知事賞を金谷中山間地域組合（鈴木義男代表）が、多面的機能支払交付金部門の茨城県農林水産部長賞を南小泉水とみどりの会（石川馨代表）が、それぞれ受賞しました。

金谷中山間地域組合は、「農事組合法人かなや」を設立し、将来にわたる持続的な農業生産活動の実施体制を構築したこと。また、南小泉水とみどりの会は、経費削減に努め、地域をつなぐ交流活動を行ったことなどが評価されました。



左から、石川さん、山口市長、鈴木さん

県産材を利用してプランターづくり

11月3日（金）に笠間芸術の森公園イベント広場で「いばらきストーンフェスティバル2017」が開催され、あわせていばらきの森普及啓発活動支援事業が行われました。

笠間市PRブースでは、森林湖沼環境税PRの一環として、茨城県産の木材を利用した「木工教室」が行われ、参加者は、釘打ちなどの作業に苦労しながらも、プランターや本立てを完成させました。



木工教室に参加する子どもたち

上海で日本陶芸家10人展を開催

平成29年11月23日（木）から12月3日（日）までの11日間、中国の上海市で日本陶芸家10人展を開催しました。

この催しは、笠間焼作家の個展を開催したいという中国の強い要望をジェットロ茨城が仲介し実現したもので、山路和夫さん、丸山輝悦さん、植竹敏さん、大貫博之さん、小林浩さん、根本達志さん、羽石修二さん、柳橋修二さん、飯沼耕一さん、大野佳典さんが参加しました。

期間中は日本の陶芸家代表として街中にポスターが掲示されたり、地元新聞にも取り上げられるなど称賛を浴びました。代表の山路さんは、「今後も中国との文化交流の実現に向けた取り組みを行っていききたい」と思いを話してくれました。



左から、小林さん、飯沼さん、植竹さん、丸山さん、羽石さん、山路さん、大貫さん、柳橋さん、根本さん、大野さん

まちの話題

笠間市新年賀詞交歓会

1月4日（木）、宍戸ヒルズカントリークラブハウスで、笠間市新年賀詞交歓会が開催され、各界で活躍している特別招待者、国会議員、県議会議員、市議会議員、地元企業、公募による参加者など約250名が参加しました。

第一部では、茨城大学の高橋教授による「笠間時朝と笠間城」の講演が行われ、第二部では、大井川茨城県知事をはじめ昨年ゴルフ界で大活躍し新人賞を受賞した、プロゴルファーの畑岡奈紗さんも出席し、会場に華を添えました。

畑岡さんの「ゴルフを通し、笠間市と茨城県の名を世界に広めていきたい」とのコメントに、出席者たちは大盛り上がり。大井川茨城県知事と畑岡さんの参加で、力強いスタートを切ることができました。



畑岡さんへ花束贈呈



来賓の方々との鏡割り



受賞の喜びを語る仲田さん

米・食味分析鑑定コンクール国際大会で金賞に

米農家の仲田一雄さん（飯田）が、第19回米・食味分析鑑定コンクール国際大会の都道府県代表お米選手権で金賞を受賞し、第14回お米日本一コンテストinしずおかではトップ75に入賞しました。

米・食味分析鑑定コンクールは応募総数5,345点（一般農家）、お米日本一コンテストは522点という厳しい競争のなかから選ばれたもので、全国トップクラスの品質であることを証明しました。仲田さんは、「これからも味で勝負できる米づくりを頑張りたい」と意気込みを語りました。

スカイガードと災害時支援協定を締結

笠間市は県内自治体では初めて、一般社団法人スカイガード（水戸市）と「災害時等における支援協力に関する協定」を12月25日（月）に締結しました。

今回の協定締結により、地震や浸水などで災害が発生した場合に、上空からリアルタイムで災害現場の状況を映像で確認することで、人命救助や災害対応に迅速に結びつけることができるようになります。また、人が立ち入れない災害現場の情報収集や災害現場の地図作成など、災害対応に大きな力を発揮できると期待されています。

市では、今後も多様な民間企業や団体との災害支援協定の締結を進め、災害時における被災者支援を充実させていきます。



左から、スカイガード理事長の渡辺さんと山口市長